

事後評価結果（平成16年度）

担 当 課：中国地方整備局道路部道路計画課
担当課長名：清水 純

事業名	一般国道53号 <small>かわはら</small> 河原道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省	
起終点	自：鳥取県鳥取市河原町福和田 至：鳥取県鳥取市円通寺	延長	5.5 km			

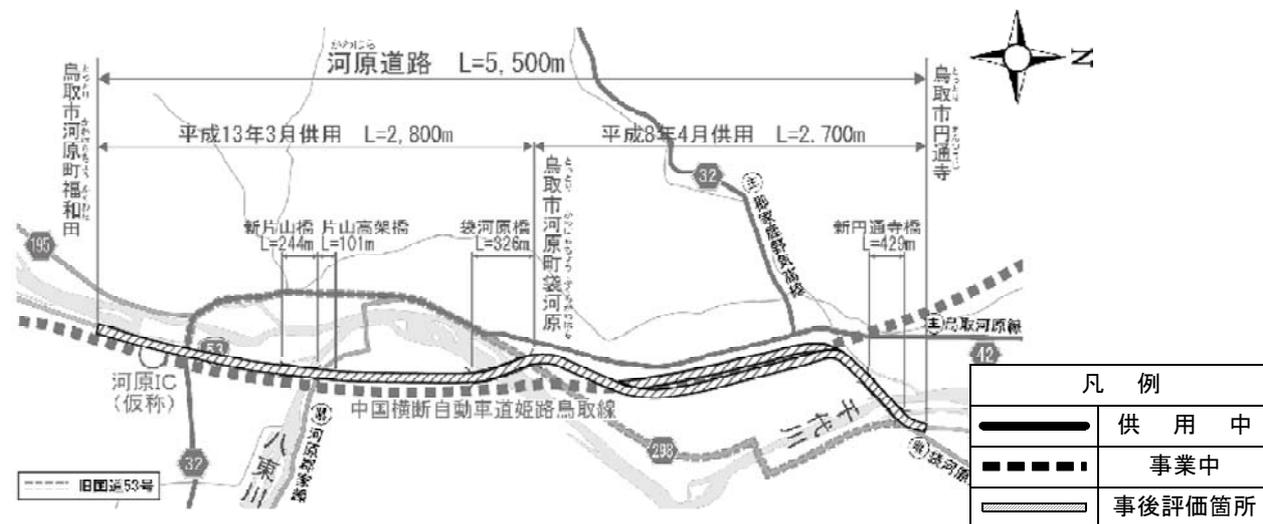
事業概要

一般国道53号は、岡山市から鳥取市に至る延長約140kmの路線であり山陰と山陽を結ぶとともに中国縦貫自動車道へ接続する主要な幹線道路として、鳥取県東部地域の産業経済の発展に大きく寄与している。河原道路は、鳥取県鳥取市河原町福和田を起点とした延長5.5kmの2車線道路である。

事業の目的・必要性

現道の国道53号の鳥取県鳥取市河原町福和田～鳥取市円通寺間は、家屋が連担し、幅員が狭いうえ、千代川を横断する河原橋と円通寺の2箇所では、直角曲がりり線形も悪く、慢性的な渋滞箇所となっていた。河原道路は、一般国道53号の交通混雑の緩和、隘路区間の解消、沿道地域の環境改善及び交通サービスの向上を図る目的で計画された道路である。

事業概要図



事業の効果等	事業期間	事業化年度：S62年度 都市計画決定：H63年度	用地着手：S63年度 工事着手：H2年度	供用年 (暫定/完成)	（当初）H8/H12 （実績）H8/H12	変動	1.3倍
	事業費	計画時 ^(※3) (暫定/完成)	/114.0億円	実績 (暫定/完成)	/207.9億円	変動	1.8倍
	交通量 (当該路線)	計画時 ^(※3) (暫定/完成)	/15,700台/日	実績 (暫定/完成)	/21,016台/日	変動	134%
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	24.7	→	38.5 km/h	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	45.7	→
費用対効果分析結果 (事後)	B/C	3.2	総費用 (事業費：285億円 維持管理費：42億円)	327億円	総便益 (走行時間短縮便益：892億円 走行経費減少便益：105億円 交通事故減少便益：40億円)	1036億円	基準年 H16年
事業遅延によるコスト増	費用増加額	億円		便益減少額	億円		
事業遅延の理由							

客観的評価指標に対応する事後評価項目

- 投資効果の有無

費用便益比：B/C=3.2（基準年：平成16年、検討年数：供用後40年）

便益額：B=1,036億円

- ・走行時間短縮便益：892億円
- ・走行経費減少便益：105億円
- ・交通事故減少便益：40億円

費用：C=327億円

- ・事業費：285億円
- ・維持管理費：42億円

- 事業期間の状況・・・用地期間（S63～H11）：12年間
工事期間（H2～H12）：11年間

- 客観的評価指標に対応する事後評価項目

円滑なモビリティの確保・・・主要渋滞ポイント「袋河原交差点」の渋滞解消。

安全な生活環境の確保・・・直角曲がりかつ幅員が狭い河原橋、円通寺橋の解消

国土・地域ネットワークの向上・・・河原道路を利用することにより、鳥取市用瀬町から鳥取県庁の所要時間が短縮される。

その他評価すべきと判断した項目
特になし

事業による環境変化
環境影響評価に対応する項目

- 沿道環境の状況

整備後の騒音状況

鳥取市河原町片山地区：整備後（H13）（昼間）62.8dB（夜間）59.0dB

[環境基準：昼間70dB以下、夜間65dB以下]

環境基準を満足している。

- その他、大気環境、自然環境への影響については、沿道住民からの苦情も寄せられておらず、周辺環境への影響は小さいものとする。

その他評価すべきと判断した項目
特になし

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・鳥取県東部9市町村（鳥取市、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、青谷町、鹿野町、福部村）の合併が平成16年11月1日に行われた。

今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

事業により交通渋滞の解消、通勤時間の短縮、隘路区間の解消等の効果の発現があること。また、事業による周辺環境への影響も小さいことから、今後については事業評価の必要性はないと考えている。

計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

特になし

特記事項

特になし

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。